

ジャンル/小説

Novelist



宗田 理

SODA Osamu

代表作

- 『未知海域』（1979年）
『少年みなごろし団』（1983年）
『ぼくらの七日間戦争』（1985年）
以降「ぼくらシリーズ」継続し、
40巻を超える
『仮面学園殺人事件』（1999年）
『ほたるの星』（2004年）
『ええじゃないか17歳のチャレンジ』（2005年）
『ぼくが見た太平洋戦争』（2014年）

ほか多数

※映像化されたものを含む

活動略歴

- 1928年 東京都生まれ、愛知県西尾市一色町出身。
1945年 一生忘れることのない戦中に過ごした学生時代を経て、終戦を迎え、上京。
日本大学芸術学部に入り、映像に興味を持ち脚本を書く。卒業後はシナリオライターや編集者、編集会社経営等をする。
1979年 『未知海域』で直木賞候補。小説家として活動始める。
1983年 新聞連載『少年みなごろし団』を刊行。大人向けだったが子どもに人気が出る。
1985年 「ぼくらシリーズ」1作目『ぼくらの七日間戦争』刊行。累計2000万部発行の人気シリーズとなる。
1988年 映画「ぼくらの七日間戦争」大ヒット。
2016年 **名古屋市在住で、長きに渡る作家活動を讃えられ、名古屋市芸術賞芸術特賞受賞。**
2018年 『小学生がえらぶ！“こどもの本”総選挙』ベスト10に『ぼくらの七日間戦争』が唯一の昭和年代出版本で堂々8位に入る。
2024年 **名古屋市にて死去。**

参考・出展元/文化のみち二葉館「ふたば夏」23号 2016.7
インタビューより

SODA Osamu (1928 – 2024/novelist)

He wrote in Nagoya City and published many works that pointed out social contradictions from the perspectives of children and the elderly.

He gained popularity among the younger generation, especially among children.

In particular, his series, including "Seven Days War" which was made into a movie, is still enthusiastically supported by children today.

ジャンル / 小説

Novelist

名古屋市収蔵の資料
／宗田理

(一部掲載；収蔵先 文化のみち二葉館)

Collection related to Soda Osamu in Nagoya City.
Storage location: Cultural Path Futaba Museum,
City of Nagoya.←特にこどもに人気の小説だが、
読んで育った大人にも不変の
人気を持っている。←寄贈された著作がを並べての
展示。ぼくらシリーズは全巻
揃っている。←左／1979年刊『未知海域』はその年の直木賞候補となった。冒険小説
でありながら、水産業界の裏の実態調査をテーマにした社会派小説。

上記資料の閲覧を希望される方は、[文化芸術推進課](#)または[文化のみち二葉館](#)までお問い合わせください。
なお、学術研究または教育普及目的の場合にのみ閲覧が可能で、所定の手続きが必要です。